

注目される“多世帯”という暮らし



アクティブシニアの親世帯と子夫婦世帯が孫を介して「つながり」合い「分かち」合う（三井ホーム）



があります。一方で、若夫婦世代も共働きが一般化して、大都市圏では待機児童問題が注目されるなど、さまざまな問題が表面化しつつあります。

働く妻の「働いていたい」という希望も、多世帯住宅指向の広がりの背景といえます。住環境研究所がまとめた、『共働き家族の暮らし意識に関する調査』の結果によると、フルタイム就労妻の72・0%とパートタイム妻の64・1%が「就業は自分に合っていない」でなければ就業してみたい」回答しています。妻の就業

世代夫婦、孫
想定した一世
いの一部をシ
うしたり、
（つながり合
施したもので
一方で、少
化に加え、家
す安心感や経
から、親子両
な親族同居も含
る。

世代の3世代を
常住宅で、住ま
エア（分かち合
コネクティング
ツ）する工夫を
す。
子高齢化や晩婚
族とともに暮らし
世帯だけでもなく
の1つとして、
居にメリットを
世帯からの積算
によるもののが
クティッシュニ
の方が及び腰
というほど。相
きかけが多か
スタイルから、
世帯住宅は、は
いえそうです。

。市民権を得たど
住宅カテゴリー
親世帯からの働きかけ
アである親世帯のケースもある
った、かつての様変わり。多く、むしろア

多世帯住宅

住宅各社は最近、多世帯住宅という言葉を使い始めています。これまで、独立していた親世帯と子ども世帯が、何らかの理由で同居することになった住まいのことです。「何だ、二世帯住宅か」と思われるかもしれません、親子同居に親族が加わるなど、三世帯や四世帯住宅といったケースもみられるからです。高齢化や子（孫）育ての要素が大きいほか、都市部では来年1月1日から施行が予定される、相続税法の改正の影響もあるようです。血縁ゆえの親密な関係が築けるというメリットはありますが、血縁だからこそそのトラブルや問題も起きやすいようで、お互いの本音での話し合いは不可欠といえそうです。

相続税対策にも有効

“嫁姑問題”に代表されるように、かつての二世帯同居へのイメージは決してプラスではなく、地価高騰などで単世帯をあきらめた「消極的な」同居が多かったといわれています。しかし、共働き家族の増加を背景に両世帯での家事や育児の協力など、むしろ最近ではより「積極的な」同居がみられるのが特徴です。同居によって家計負担を減らそ

うとして現実的な面に加えて東日本大震災以降の家族の“絆”を見直す動きも後押ししています。

一般的な多世帯住宅には、居室以外は共有というタイプから、玄関や水回り（キッチン・バス・トイレ）などは別

などがあります。以前は共有タイプが多かったのですが、

「生活への干渉」や「ライ
スタイルが異なることへの
ストレス」の理由から、共有
するスペースと分離するスペース
を備えたプランが主流とな
っています。キッチンやバ
ーが別なら、親世帯が就寝後
深夜の帰宅時でも入浴や食
事（多少気配りは必要で
あるが）可能となるからです。
多世帯同居が注目される
景には、高齢社会の進展に
り高齢夫婦2人や高齢単身

子世帯を「なく位置に移す」ことを目的として、子世帯の「スペース（子ども部屋など）」を配置する「孫共育ゾーン」を導入。子世帯の夫婦が「仕事に出て不在の間は、親帯が孫の面倒を見る仕組み」になっている。同社の二世帯住宅研究所によると、祖父の日常的な世話を受けることで、「孫は礼儀正しく高齢者優しくなるとともに、親世代も明るくなる」と評価しています。

には家計から立ちあかない実態も少なくないとも思われますが、夫以上に前向きな就業意識となっていることがわかりました。

住宅会社もこうした動きに応え、多世帯に対応した商品を提供し始めています。三井ホームは、光文社の女性誌「VERY（ヴェリィ）」と、同社のコラボレーション企画で、「二世帯3世代住宅（ツンツール）」を現実のためのコラボレーション企画として実現する。顧客が理想の「重なり度」とする暮らしが、ひとりに合つて、あるいは複数人で、あるいは家族で、あるいは地域で、あるいは社会で、あるいは世界で、それが多世帯同様に構成される。これが、まさに「二世帯3世代住宅（ツンツール）」の「いか」を確認するところである。

都市のさまざまな規制の中でも最大限の居住スペースを確保し、それぞれの家族のライフスタイルに応じた間取りが可能に（積水ハウス）

Take Free

無料

編集部からのお願い

この新聞は、マイホーム購入や賃貸経営等をお考えのユーザーの皆様向けに無料で配布しているフリーペーパーです。

貴社・貴所にご来店されるお客様にご自由にお取りいただける場所に置いていただければ幸いです。また、お届けする部数を増やすなどのご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いします。

問い合わせ先 住宅産業新聞社
TEL : 03-6233-9611
iutaku@housenews.jp

SEKISUI HOUSE

SLOW & SMART
ゆっくり生きてゆく、住まいの先進技術。

夢よ、もう1階。

家は、
夢を見る。

空に向かって、
のびのびと、
自由な夢を。

通し柱のいらない自由なプランの、
「フレキシブル3・4階」。

積水ハウスの3・4階建て。

家に帰れば、積水ハウス。

積水ハウスの3・4階建て

良質な多世帯住宅を供給



ツインファミリートロワ

三井ホーム

三井ホームの自由設計の二世帯3世代住宅が、『ツインファミリー』(トロワ)。ライフスタイルの異なる二世帯が、気兼ねなく暮らせるアーバンを盛り込んでおり、現行の同社の需要層で比較的手薄な30歳代の女性層の取り込みを狙いとした。「自分たちの暮らしを自由に楽しみたいと考えているアクティビティ」ア層の親世代と子世代夫婦、その孫世代の3世代を想定。それぞれが楽しむ暮らせるというコンセプトで開発した」としている。

「つな」 一 世 代

では①それぞれの家族が暮らしを楽しめる場がある②一緒にでも別々でも家族が気持ちよくつながる工夫③それぞれの世代が快適に暮らす便利な工夫

がづけている。2階のコニーも両世帯共通で、急な雨にはお互洗濯物を取り込むなれるやかに「分かち合ひ」と「つながり合い」

バルが、荷物が多いなど
の場に応じて子世帯もエ
ィの 一ターを使えるよう
いの 計としている。
「い」 親世帯のダイニ
でき は、吹き抜けの光が

レベ
な設
状況
聞こえる空間となつた。
家の合間に女性が自
分の時間を過ごせる居場
所「プチ・リコックス」の
ほか、男性のための「パズス
テーション」や
「グラン・ステーション」を設定。
それぞれに
くつろぎのプライベート
スペースを用意した。
三井ホームでは、19
87年の「ツインファミ
リー」を発売して以来、
隣居をはじめ二世帯の住
り方を時代のニーズとよ
く沿うる提案してきた。
今回のトロワも、そね
ぞの世代がより豊かに
暮らしを楽しめる「暮ら
し継がれる家」を実現し
ていいく。



積水ハウス

積水ハウスの「ビエナ」は、重量鉄骨によるオリジナル「βシステム構法」を採用した、4階建ても可能な多世帯住宅。梁勝ちフレーム構造の特性を生かし、さまざまな空間が構成できるフレキシブルさが特徴だ。高級感のあるエントランスや高遮音床、空気環境に配慮した「エアキス」仕様など、高いクオリティを確保した。 β システム構法は、昨年10月1日発表の「2013年度グッドデザイン賞」を受賞している。また、新たな多世帯の住まい方を提案する「カゾク・ト・カゾク」を用意し、ハードとソフトの両

面から多世帯居住をサポートする。
ビエナの構法は、梁勝ちラーメン構造で住宅ながら高さ60mの高層ビルと同じ耐震基準の設計が可能。H形鋼の柱と梁を保つ。通し柱が不要で各階の大震発生時の安全を確保する。

柱の位置が移動できるため、各階の間取りや窓位置の自由度が高く、最大8層の大スパン設計が可能である。コーナーに必要な柱も動かせるので、開放的なコーナーサッシの設

有効活用が図れる。防錆処理を実施した壁の中に収まるHの柱を使用するので

主要規制をクリアする。動車部のさまざまな規制で最大限の居住スペースを確保し、敷地の可動性を最大限に引き出せば、形鋼由設計が特徴だ。一方の『カゾク・

都市の中の実事例のイ
ト・
る自能性、一
活用した新たな「ハイテ
ケーション手法によ
て、ゲーム感覚で樂しみ
ながら多世帯の住まいづ
くりを進めてもらつ。
アプリでは、まず家庭
構成を整理するため、家族
族それぞれのキャラクタ
ーを選択。次に、暮らし
のシーンや空間の共有・
分離を「いつも」、「よ
きどき」、「思い思い」
に分類して、家族の距離
感を独自指標の「重な
度」として表現する。
その上で「アイデアア
ラン集」や設計アイデア
「GOOD IDEA 30」を活
用して問題解決を図る。

フレキシブルな空間設計
13年グッドデザイン賞も

「つながらり」「分かち合い」を
二世帯3世代気兼ねなく
イング（つながり合
暮らし）を樂しめる場があ
る(2) 緒でも別々でも家
族が気持ちよくつながる
快適に暮らす便利な工夫
型「スマート2×4

合う）したり、「コネ
では①それぞれの家族が
する工夫を施した。る②
の創エネ・省エネ機
搭載した独自の環境
工夫③それぞれの世代が
族が気持ちはよくつながる
族が気持ちよくつながる
便利な工夫と「つながり合い」
は、吹き抜けの光

づけている。2階のバル
が、荷物が多いな
コニーも両世帯共通の場
に応じて子世帯もこ
で、急な雨にはお互いの
洗濯物を取り込むなど、
ゆるやかに「分かち合い」
親世帯のダイニ
計としている。

」とし、3階建てと――の3つを設定した。建てで展開する。「つながり」では、1世帯を軸に、建替層を掘り起こしを行なうことで、親世帯がエレベーター、子世帯が階段を使う多目的スペースと位置づけられている。この吹き抜けの玄関は両世帯個別に用意するが、ポーチを共有することによって顔を合わせながらの外出が可能。通常のリビングにも光をもたらす。この吹き抜けの玄関は、2階の子供たちの外出が可能。通常のリビングにも光をもたらす。



■暮らし継がれる家■

シェア&コネクティングではじめる
3世代がハッピイな暮らし



「分かち合う」暮らしやすさと、
「つながりあえる」楽しさ。
二世帯住宅は「世帯」から「世代」へ。

Twin Family **iii**
トロワ



お問い合わせ/カタログ請求は、
右記のフリーダイヤル・ホームページまで。

0120-94-4331 (9:00~18:00 土・日祝日除く)

三井ホーム株式会社 本社
〒163-0453 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル53階

